

広島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海洋気象
科目基礎情報						
科目番号	0032		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科 (航海コース)		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：海洋気象講座、福地章著、成山堂書店					
担当教員	岸 拓真					
到達目標						
(1) 風の成因（地衡風、傾度風、海陸風、季節風）の違いに関する内容を概ね説明できる。 (2) 日本付近の気団の種類を概ね説明できる。 (3) 代表的な日本付近の地上天気図を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	風の成因（地衡風、傾度風、海陸風、季節風）の詳細について説明できる。		風の成因（地衡風、傾度風、海陸風、季節風）の違いに関する内容を概ね説明できる。		風の成因（地衡風、傾度風、海陸風、季節風）の違いに関する内容を概ね説明できない。	
評価項目2	日本付近の気団の種類の詳細について説明できる。		日本付近の気団の種類を概ね説明できる。		日本付近の気団の種類を概ね説明できない。	
評価項目3	地上天気図の詳細について説明できる。		代表的な日本付近の地上天気図を説明できる。		代表的な日本付近の地上天気図を説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	船舶運航者に必要となる海洋気象学及び天気予察の基礎知識を習得し、海洋気象学及び海洋学の基礎内容を学ぶ。商船分野の専門的な知識・技術の習得が目標である。					
授業の進め方・方法	授業は原則として、固有教室で行います。可能なかぎり教科書に沿って基本的事項の説明、その基本事項についての問題解決の説明を行います。					
注意点	その週の講義箇所の教科書に少し目を通して授業に参加して下さい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	大気圏の構造		大気圏の構造と組成について説明できる	
		2週	大気と気象要素		気圧、気温、及び湿度の定義について説明できる	
		3週			風について説明できる	
		4週			雲・降水現象、視程について説明できる	
		5週	大気の安定と不安定		大気の安定度について説明できる	
		6週			大気の安定・不安定の意義について説明できる	
		7週	風の発生機構		風の発生要因について説明できる	
		8週			地衡風と傾度風について説明できる	
	2ndQ	9週	大気の環流		海陸風、フェーン現象など第3次の大気循環について説明できる	
		10週			季節風などの第2次の大気循環について説明できる	
		11週			中緯度地方などの第1次の大気循環について説明できる	
		12週	気団について		気団の定義とその分類について説明できる	
		13週			日本付近の気団について説明できる	
		14週	前線の種類と発生機構		前線の発生と消滅について説明できる	
		15週			前線の種類について説明できる	
		16週			前期まとめ	
後期	3rdQ	1週	温帯低気圧		前線の移動・地形性の前線などについて説明できる	
		2週			温帯低気圧の発生機構について説明できる	
		3週			熱帯低気圧の発達、危険区域の回避について説明できる	
		4週			熱帯低気圧の天気、スコールラインについて説明できる	
		5週			日本近海の低気圧について説明できる	
		6週	高気圧		高気圧の発生機構と種類について説明できる	
		7週	局地気象現象と天気図		高層天気図について説明できる	
		8週			高層天気図について説明できる	
	4thQ	9週			日本付近の天気図の型について説明できる	
		10週			日本付近の天気図の型について説明できる	
		11週	海洋波とうねり		海の波の種類について説明できる	
		12週			風浪とうねりの推算について説明できる	
		13週			潮汐現象について説明できる	
		14週	潮汐と潮流		潮汐の調和分解の考え方について説明できる	
		15週			潮流について説明できる	
		16週			後期まとめ	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	5	15	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	5	15	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0